

# KLIS TODAY

No.

1

筑波大学 情報学群 知識情報・図書館学類

〒305-8550 つくば市春日 1-2 Tel.029-859-1110 Fax.029-859-1162  
URL: <http://klis.tsukuba.ac.jp/> E-mail: [klis-info@inf.tsukuba.ac.jp](mailto:klis-info@inf.tsukuba.ac.jp)



## 学類長よりご挨拶

知識情報・図書館学類は、従来の図書館情報専門学群を改組して、平成19年度に発足しました。現在、1年次は知識情報・図書館学類、2～4年次は図書館情報専門学群という構成です。

新しい学類の教育が軌道に乗りましたので、この機会に知識情報・図書館学類の学生やご家族、高等学校の先生方に、大学での教育や学生の生活の様子などをお知らせし、ご理解いただくことを目的として、この小冊子を作成しました。図書館情報専門学群生の皆さんには、新しい学類についてご理解いただき、後輩へのサポートや共に学ぶ際の参考にいただければ幸いです。

初号では、まずは本学類の教育の考え方をご理解いただくことを目的としましたので、内容はやや堅苦しいものになりました。この冊子は簡素なものですが、今後、皆様との窓口として、工夫を凝らしていきたいと考えています。この冊子を通じて本学の教育へのご理解をいただき、知識情報・図書館学類へのご支援をいただきたく存じます。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

筑波大学 情報学群 知識情報・図書館学類長

石井啓豊



## 大学での成績 ～このようにつけられています～

大学生は卒業のための条件や自分の興味を考えながら、履修する科目を決めます。個々の科目は概ね同じ「大きさ」、すなわち「受講時間数」で構成されます。筑波大学では、普通の講義科目は75分間の授業を10回受講することで1単位が与えられます。ひとつの科目は通常1または2単位です。これを単位制といいます。

そのため、成績表は履修申請した科目名と成績、単位数がずらっと並ぶ一覧表となります。筑波大学では成績はA, B, C, Dの4段階で評価され、合格基準に達した場合はC以上の評価となり、基準に達しない場合はD評価となり単位はもらえません、Aは優れている、Bは普通、Cはぎりぎり合格という意味です。

卒業のためには、いくつかの条件を満たして合計125.5単位以上を修得しなければなりません。2単位の科目であれば、評価がAでもCでも同じ2単位が与えられますし、不合格や履修放棄が多くても必要な単位数さえ確保すれば卒業できます。したがってすべてがCであっても痛くもかゆくもありません（ただし奨学金や授業料免除の審査では一定以上の成績が必要になります）。ただ、実際にはCやDが多い学生、履修放棄が多い学生は、単位の修得自体も順調には進まず、留年や退学に至るケースが多くなっています。また、1年間に15単位を修得できない場合は、1回の猶予はありますが、除籍になります。

## 本学類教員の

## 受賞紹介

## 谷口 祥一 教授



図書館等が所蔵する資源（知識資源）を探すための道具を「目録」、「OPAC」などと呼びます。近年の資源タイプの多様化や台頭したサーチエンジンへの対応、そして他の領域との連携などを念頭に、その道具を根本から見直し再構築することが始まっています。今回の受賞対象となった研究は、その道具の最も基礎の部分に該当し、対象とする資源をいかに捉え表現するのかという概念設計（概念モデリング）と呼ばれる段階に注目し、新たな提案と検証を試みたものです。ここ10年（遡れば約20年）にわたって取り組んできたものです。

- 賞 の 名 称：2007年度日本図書館情報学会賞
- 受賞タイトル：A conceptual modeling approach to design of catalogs and cataloging rules. ひつじ書房刊行, 2007

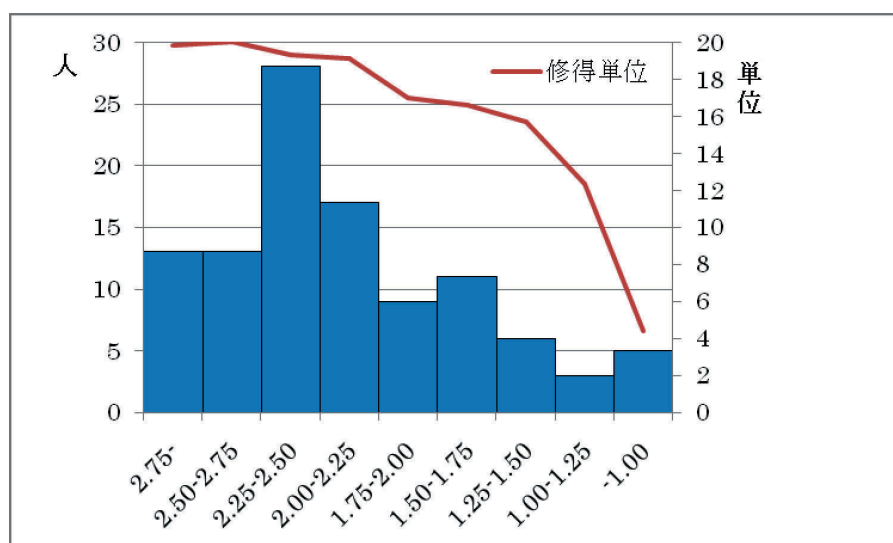
## 成績の指標＜GPA＞について

知識情報・図書館学類では成績評価の総合指標として、GPAという指標を採用しました。GPAはGrade Point Averageの略称で、欧米の大学を中心に使われている成績評価法です。科目毎の成績にGrade Point (GP) が与えられ、その平均値で総合評価を行います。筑波大学では成績を4段階で評価するので、知識情報・図書館学類で使用するGPAはA=3、B=2、C=1、D=0とするGPの平均で、満点が3点です（一般には5段階評価の4点満点で計算します）。簡単に言うとGPAは履修登録した科目に関する成績の平均点だと考えてください。

1期生の1～2学期の成績をもとに算定したGPAは図のような分布となりました。2/3の学生は2.0以上のGPAを確保していますが、残る1/3の成績分布の裾は大きく広がっています。GPAが2.0以上の学生の修得単位数は19～20単位程度ですが（平均19.5単位）、2.0を切ると修得単位数が減少する傾向があります。GPAが2.0未満1.5以上の学生は平均16.8単位、1.5未満だと平均10.9単位しか修得できておらず、「1, 2年生は年間40単位前後を修得する」という、学類の標準的な履修計画からの遅れがはじまっていることがわかります。

知識情報・図書館学類では、GPAが概ね1.5未満の学生に対して、クラス担任が学習意欲の確認や学習方法の指導等を行っています。GPAが1.5以上でも、勉強方法がわからない、一部の科目にどうしても馴染めない等の悩みがあれば、いつでもクラス担任が相談に応じます。

GPAの分布



## 大学院進学について

知識情報・図書館学類の前身の図書館情報専門学群では、卒業生の約3割が大学院に進学し、学部で行なった卒業研究を深めたり、より高度なテーマにチャレンジしたりしています。大学院は、学部を卒業して入る2年間の修士課程（博士前期課程ともいう）、修士課程を修了してから入る3年間の博士課程（博士後期課程ともいう）があります。大学の学部を卒業すれば学士がもらえるように、修士課程を修了すれば修士がもらえます。博士をもらうには、博士課程を修了したうえで博士論文の審査に合格する必要があります。最近では、理工系の場合は修士課程修了があたりまえとなり、昔のように大学院が特別なところではなくなってきました。文科系でも社会のニーズとして大学院出身者が広く求められています。

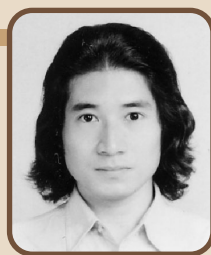
知識情報・図書館学類の教員が所属・担当している大学院に図書館情報メディア研究科があり、ここでは情報化社会の担い手となる情報のプロフェッショナルを養成しています。図書館情報メディア研究科博士前期課程の修了生は、専門職業人として企業や図書館などで幅広く活躍しています。図書館情報メディア研究科には推薦入試、8月期と2月期に一般入試があります。推薦入試では学群1年次からの成績が考慮されますし、一般入試ではTOEICのスコアが評価されます。したがって、大学院に行く可能性がある場合は、日ごろからの学習意識が重要になってきます。

この機会に、大学院進学も視野に入れて計画を立ててみてはいかがでしょうか?詳しくは、<http://www.slis.tsukuba.ac.jp/grad/>をご覧ください。

## 本学類教員の

## 受賞紹介

## 藤井 敦 准教授



グーグルやヤフーのようなネット検索システムの仕組みをご存じですか? 自動車や家電などの機械がたくさんの部品でできているように、検索システムも部品化された数多くのプログラムが複雑に連動しています。利用者が入力するキーワードや質問の種類は様々なので、検索方法のプログラムをいく通りも用意して幅広いニーズに応えることが大切です。私が今回受賞した研究では、キーワードや質問の種類を特定して、その内容に合った検索方法を自動的に選ぶことで、利用者の満足度を高める技術を開発しました。これからも、知識や情報が活力を持つ時代に役立つ研究をしたいと考えています。

- 賞 の 名 称： インターネットコンファレンス2007 論文賞
- 受賞タイトル： Web検索におけるアンカーテキストのモデル化と質問の自動分類